

タウンサポーター



*ホームページでも情報発信中!

第157号
下都賀教育事務所
ふれあい学習情報紙
【令和5年6月号】



【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃本市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

ふれあい学習推進委員の紹介

今年度のふれあい学習推進会議のテーマは、「共生社会の実現に向けて～障害者が学び合い、つながり合う機会の充実～」です。

共生社会の実現に向け、障害者が学校卒業後に、生涯を通じて教育や文化、スポーツ等の様々な機会に親しみながら、周囲の人々と学び合い、つながり合う機会づくりについて協議し、実現に向けた具体的な取組を考えていきます。

壬生町社会福祉協議会 鈴木 桜理 様
社会福祉法人パステル 石橋 須見江 様
小山市保健福祉部福祉課 塩澤 小雪 様
栃本市栃木公民館 永田 陽一 様
下野市いこみ 粥見 美夏 様
太平少年自然の家 大塚 尚 様



壬生町生涯学習課 町田 直美 様
野木町生涯学習課 竹内 和徳 様
小山市生涯学習課 堀 達哉 様
栃本市生涯学習課 山口 健一 様
下野市生涯学習文化課 大塚 隆邦 様

地域をつなぐふれあい学習

壬生町 「育てたい『論語』という大木を」

論語は時を超えた先人から、人生を彩るために必要なことを学ぶのに非常に素晴らしいものです。壬生町では、論語を学ぶことを通して、生涯に渡って学び続ける子どもたちの育成を目指し、学校と協力しながら、論語検定や藩校学習館祭りをを行っています。昨年度開催した藩校学習館祭りでは、検定の上級に合格した子どもたち42名で圧巻の大朗誦を行いました。今後、町民の皆さんや大人になった子どもたちが、藩校学習館祭りを盛り上げ、論語を中心とした人づくりから、みんなで学び・楽しみ、心が触れ合う町をつくりだせるようにしたいと考えています。



今はまだ種まきの段階ですが、水や栄養をじっくり与えながら深く根を張った『論語』という大木が壬生町に根付き、町のシンボルになることを目指していきたいです。



下野市いこみ 「ひとりじゃなくて みんなで考えよう」

「いいこみ」は下野市在住で支援学校や支援学級などに通学中、または卒業した子どもの保護者が、年に数回下野市市民活動センターに集まり、日頃の悩み事など自由に話したり、情報交換をしたりしています。その他にも障害年金や後見人などの制度について勉強会を開くこともあれば、市の相談支援センター職員をお呼びして障害サービスについて教えていただいたり、生活面の不安を聞いていただいたりすることもあります。

また、ボーダーやグレーゾーンと呼ばれるお子さんをお持ちの保護者の集まり「わかばクラブ」もあります。集まっている保護者のお子さんの状況は様々（現在、児童発達支援施設や通級指導教室に通っている、不登校傾向にある、大学等に進学し就職活動をしているなど）で、時には涙あり笑いありで様々な情報交換をしています。



お知らせ 「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」をご活用ください

栃木県教育委員会では、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)や地域学校協働本部をこれから導入・整備する予定の自治体や学校、及び現在展開している活動を振り返り、さらに活性化したいと考えている方々のガイドとしていただくために「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」を作成しました。

本ハンドブックでは、学校と地域の連携・協働の流れを「整備・導入期」から「運営期」の段階へと整理しています。また、「第1章 基本編」と「第2章 実践編」に分けて、具体的な取組やポイントとそれに対応する事例等を示しています。

ハンドブックの本冊及び概要版については、県ホームページにデータを掲載していますので、必要に応じてご活用ください。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。